

所属・資格 国文学科・教授

申請者氏名 久米 依子

研究課題		近現代の少年少女向け文学・文化の諸問題の研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	日本近代で独特な発展を遂げた少年少女文学と文化について、各時代の雑誌メディアやメディアミックスの様相も追いながら、同時代の文化状況とどのように関わりあいながら発展・深化したかを考察し、日本文化や教育制度との関連も分析する。
	研究の結果	近現代の少年少女向け文学・文化については、ライトノベルと少女小説について、海外学会を含む場で発表を重ね、聴衆の貴重な意見を得た。その際にライトノベルのメディアミックスの様相を追い、現代文化として表現を切り開いている状態を確認し、またライトノベル出版がまだ盛況である中で、少女小説が衰退傾向である点を歴史的に整理し、問題提起的に発表することができた。これらについては次年度に論文を公表する予定である。その他、戦前期の若い女性向け教養誌の中の職業婦人像に関して調査考察し、当時のジェンダー制度の中の女性表象や表現の抱える問題を検討することができた。
	研究の考察・反省	ライトノベルの現代文化としての特色や、メディアミックスを通して新たな表現がもたらされた意義は整理し考察することができた。しかし、現代文化の中の位置をまだ確定できたとはいえ、新たに台頭しているライト文芸の問題も含め、現代文化におけるライトノベルの内実と他文化との関係をより深く考察する必要がある。併せて、少女小説が読まれなくなった状況を、現代のジェンダーの問題として、より大きな括りで捉える必要性も感じている。それらについて今後さらに資料を収集し、引き続き研究を進展させたいと考えている。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表 ○「戦前期少年少女小説と現代のライトノベルに見る性の多様性」、The Japanese Studies Association (オーストラリア日本学会 JSAA)2019年度研究大会、於オーストラリア モナッシュ大学 2019年7月4日 ○「『平成』の新ジャンル「ライトノベル」とは何か——ライトノベルの魅力を考える」さいたま文学館 アフターファイブ文学講座、2019年7月18日～8月8日(第1回「ライトノベルの誕生」7月18日、第2回「ライトノベルの魅力(1)キャラクターとジェンダーの越境」7月25日、第3回「ライトノベルの魅力(2)メディアミックス」8月1日、第4回「進化するライトノベル 国際化・「なろう系」・ライト文芸」8月8日) 於さいたま文学館	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究成果物 ○「The Countdown of Girls' Novels is Starting(少女小説のカウントダウンが始まる)」Association for Japanese Literary Studies(アメリカ日本文学研究協会 AJLS)第28回年次総会、於アメリカ エモリー大学 2020年1月25日 ○「女性の職業と社会進出—『むらさき』と職業婦人」今井久代・中野貴文・和田博文編『女学生とジェンダー 女性教養誌『むらさき』を鏡として』所収、笠間書院、2019年4月	